



たきした まさふみ  
滝下 昌文 さん

1956年 袋 茂道生まれ  
1968年 水俣病と認定（胎児性水俣病）  
1978年 石川さゆりコンサートを成功させる  
1994年 長男誕生  
2019年 水俣病資料館「語り部」になる

げんざい みなまたしふくろ も どうざいじゅう  
現在、水俣市袋茂道在住。

わたし みなまたわん みなみがわ い ち ふくろ ちく も どう う そだ にんきょうだい ぼんめ  
私は、水俣湾の南側に位置する、袋地区の茂道で生まれ育ちました。5人兄弟の4番目です。

とうじ ちち ふね つく しごとをしながら、ミカン栽培や漁業をしていました。

しょうがっこう にゅうがく まえ にゅういん ようしょう きおく びょういん す  
小学校に入学する前から入院をしていたので、幼少のころの記憶は病院で過ごしたことがほとんどです。病院ではたくさんの訓練をしていました。とてもきつい訓練で、涙を流すくらい痛いものもありました。それでも、入院していた6年間、やり遂げました。この訓練があったからこそ、くるま せいかつ じぶん あし ある  
車いす生活になるまで、自分の足で歩くことができたのだと思います。

しょうがっこう おお くや おも  
小学校ではいじめられたりすることが多く、悔しい思いもたくさんしましたが、クラスメイトと楽しくすごした時間も思い出として残っています。

ちゅうがっこうそつぎょうご しごと びょうき しょうじょう かん かんせつ いた ずつう  
中学校卒業後は、仕事もできず、病気の症状もこれまであまり感じなかった関節の痛みや頭痛がひどくなりました。このころは、身体的にも精神的にもつらい毎日を過ごしていました。

19歳の時、仲間たちと「若い患者の会」と立ち上げ、石川さゆりさんのコンサートを企画し、私は会長としてみんなを引っ張る気持ちで取り組みました。コンサートの準備を始めたころ、周囲から反対されました。でも、メンバーみんなが「仕事がしたい」「人として生きる道を作りたい」という強い気持ちを持っていたため、「なんとか成功させたい」という思いから相談に行き、周囲の人たちを説得しました。このコンサートは「自分たちの力でやり遂げる」そういったメンバーの強い意志がありました。症状がある中、自分たちでポスター貼りやチラシ配り、チケット販売もこなしました。私たちの努力が実り、コンサートは大成功を収めることができました。

げんざい しょうじょう あつか びょうき わたし けいけん ことば  
現在は症状も悪化し、またほかの病気もあります。でも、みなさんに私が経験したことを話して二度とこのようなことを起こしてほしくないと思い、語り部を続けています。